



コロンボ日本人学校 学校便り

# アーユ・ボーワン

平成24年7月17日 発行 No.4

失敗を恐れずチャレンジする子 世界一楽しい学校

## ジャスミンの芳しい香り

校長 黒澤 秀美

4月16日にスタートした1学期も、残すところあと3日で夏休みとなります。この夏休みを利用して日本に一時帰国する子どももいますが、その子たちはこの機会に、ここでは体験できなかった日本を改めてしっかり見て体験してきてほしいと思います。また、ここコロンボに残る子や、他の国に旅行などする子もいますが、健康と安全には十分気をつけて、一日一日が充実した夏休みになるよう心がけてほしいものです。

ところで先日、いつものように出勤してきた私の机の上に、白い小さな、薫り高い花がお皿に入れておいてありました。(誕生日が近かったので、お祝いかなど思ったのですが・・・違ったようです・・・特に理由は無いようでしたが、何にでも興味を示す私へのプレゼントだったようです。)

ジャスミンのかぐわしい香りが部屋いっぱいに広がっています。コロンボ生活4ヶ月、その間何度か出会ったはずの香りですが、なぜかとても印象的な、いろんな事を思い出させる香りでした。フィリピンではサンパギータと呼ばれレイにして町のあっちこっちで売られています。あの気品高い芳しさはかつて、私が滞在していた頃の思い出とともにいつまでもしっかりと脳裏に染みついています。インドネシアでもフィリピン同様に国花として珍重されています。学校のどこにあったのか改めて周りを探して見ましたが、どこにも見あたりませんでした。自分の家から持ってきてくれたようでした。そこで、早速、用務員さんに頼んで苗を3本買い学校の前庭に植えました。

併せて、熱帯地方ならではのシナモン・ライム・コーヒーの苗も植えました。ブーゲンビリア、ハイビスカスも学校には見あたらないようなので、手配したいなあと考えています。いずれにして



も、何時の日にか、子供たちが大きくなって、再びこの地を訪れた時、香りや花とともに当時の思い出がしっかりとよみがえるように、との願いを込めて。

